

# 国立精神・神経医療研究センターで「神経炎症に関与する白血球並びに液性因子の機能解析研究」に試料・情報を提供いただいた方



このたび、国立精神・神経医療研究センターで「神経炎症に関与する白血球並びに液性因子の機能解析研究」でご提供いただいた試料・情報の一部を、下記の研究のために使用いたしますので、下記のとおり情報公開します。この研究で試料・情報を使用することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございません。

ご不明なことなどがありましたら、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

## 1. 対象となる方

神経炎症に関与する白血球並びに液性因子の機能解析研究の研究に参加された方

研究課題名: 神経炎症に関与する白血球並びに液性因子の機能解析研究 (承認番号 A2024-063、A2019-061)

研究責任者: 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 山村 隆

該当の期間: 2019 年 9 月～2024 年 7 月および2024年8 月～2029 年 7 月

## 2. 試料・情報の提供のみを行う者の機関名・所属・氏名

機関名: 国立精神・神経医療研究センター

所属・氏名: 神経研究所 免疫研究部 科研費研究員 山村 隆

## 3. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: サトラリズマブで効果不十分な視神経脊髄炎スペクトラム障害患者に対するラブリズマブへの切り替え研究 -リアルワールドでのラブリズマブの有効性と安全性の評価(延長評価)

研究期間: 2026年5月～2029年7月まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神・神経医療研究センター トランスレーショナルメディカルセンター  
開発戦略室 佐藤和貴郎

## 4. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

試料: なし

(取得方法)

情報等: 年齢、性別、診断名、合併疾患、診療経過(症状、検査結果、治療)

(取得方法) 診療録から入手

## 5. 試料・情報の利用目的及び利用方法

視神経脊髄炎の再発予防治療として使用されている、サトラリズマブを用いても、効果不十分な場合に別の治療薬であるラブリズマブへ切り替えることによって、有効性や安全性がどのように変化するかを評価する研究を実施します。この研究では、本研究では、「血液を用いた免疫指標」について検討しますが得られた結果の意義を知るために、同じ病気の視神経脊髄炎の患者から得た「血液を用いた免疫指標」と比較する解析を計画しています。そのため、あなたが参加した研究結果を用います。

提供を行う際には、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

## 6. 利用又は提供を開始する予定日

2026 年5月を予定しています。

## 7. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立精神・神経医療研究センター神経研究所

所属: トランスレーショナルメディカルセンター開発戦略室

氏名: 佐藤和貴郎

電話番号 : 042-341-2711 (内線: 5242)

e-mail: satow※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)